

人権講演会 生き方HR(情報ネット)

「インターネットの光と影」

を実施しました。



第一学年(70回生)では、7月13日(月)10:30~12:00、筒崎 眞美(つつさき まみ)氏を講師にお招きし「インターネットの光と影」と題して、人権講演会を開催しました。筒崎氏は、NIT 情報技術推進ネットワーク(株)に所属され、兵庫県警サイバーパトロールモニターをはじめ、ネット見守り隊監視員や教育委員会のネット対応アドバイザーとして、被害を未然に防ぐため、サイバー空間のパトロールを精力的に行っておられます。また、児童・生徒の現状に即した実用的なインターネットルール作りのアドバイザーとしても力を注がれています。

講演は、豊富な資料と具体的な事例をもとに解説され、なぜいけないのか、どこが問題なのか、この些細な(と思われる)ことがどれほど多くの人に影響と損害を与え、ひいては自分自身の将来(進学、就職、結婚など)に取り返しのできない痕跡を残すことになる……。生徒は、普段の学校生活とはまた違った真剣な表情で聴き入っていました。

【講演内容の要旨】

今や企業や官公庁は、採用の際、受験者の中学生の頃までさかのぼってSNSへの書き込み内容をチェックするようになってきている。特に警察や自衛隊などは、顔写真の掲載があると、採用時または採用後に不利益になる場合がある。SNSを通じて発信した情報は完全に消すことはできないため、将来の自分の進路を台無しにするような軽はずみな行為は慎むべきである。そのためには、どのような行為が情報漏洩につながり、悪用されて行くのかを知るべきであり、著作権や肖像権の侵害などの違法行為をしっかりと学び、加害者にならないようにすることも大切である。

【軽はずみな投稿・書き込みの例】

- ★たとえば未成年の飲酒や喫煙現場の写真や動画など、違法行為を撮影したものは十分に証拠として扱われる。ふざけて違法行為をにおわせるような投稿をするといったことも決してすべきではない。
- ★顔写真を投稿してしまうと、性的な写真に加工されて悪用される。いったん投稿すればその写真に肖像権はなくなるし、モザイクをかける、スタンプを押す、マスクで隠すなどの対策をしても加工されることを完全には防げない。
- ★家族や知人の写真を投稿すると、自分だけではなく被写体となった人物をも人権侵害の被害者にしてしまうおそれがある。
- ★住所や氏名、所属など個人情報そのまま書き込むと、個人が特定され、ストーカーや恐喝、空き巣といった犯罪に巻き込まれるおそれがある。
- ★社員による投稿や書き込みは、内容によっては所属する企業の評判を落としたり、株価下落の原因となったりして、甚大な被害を生むこともある。
- ★誹謗・中傷や倫理観に欠ける書き込みは進学・就職・結婚時にも不利である。

【著作権や肖像権の侵害に当たるような行為、規約違反にあたる行為】

- ★公衆の場や学校(入学式、卒業式等)で写真を撮って投稿や書き込みをすると、背景に無関係な人物が写り込むことが多く、肖像権の侵害などで訴えられることがある。公衆の場で撮影した写真や動画を投稿するこ

とはさけた方がよい。

★漫画や雑誌の内容ページを撮影し、そのまま投稿するようなことは著作権侵害にあたる。また、背景に写り込んでいても同様の罪になる。

★You Tube の利用規約を読んでいないため、プライバシーの侵害行為や他のユーザーの個人情報漏洩行為など、ユーチューバーの規約違反が多い。



【生徒の感想文】

◇インターネットへの書き込みや投稿で就職に不利になるのは、情報化の進んだ現代社会の恐さだと思った。小学校や中学校でインターネットモラルの講習はあったが、顔や場所が分かる写真の投稿はとても危険だということまでは知らなかった。私は携帯をあまり使わない方なので安心していましたが、そういう油断が危ない。自分の気づかぬうちに危ない情報を流出させているかもしれないので、細部にまで注意して利用しようと思う。被害が自分だけならまだ「自業自得」ですむかもしれないが、携帯には他人のアドレスや写真がたくさん入っているので、その人たちの人権や生活を守るためにも、重大な責任を感じてしっかりと対処していく義務がある。今の時代、携帯を持っている人がほとんどだと思うが、私のようにインターネットの本当の恐さを知らない人が多くいると感じる。犯罪などを防止するには、すべての人が注意や危険意識をしっかりと持つことが大切なので、もっと警告をするべきだと思う。勉強や部活動を一生懸命がんばっている人でも、一つの発言や投稿で台無しになるという話を聞いて、本当に驚いた。今のがんばりや過去のがんばりを無駄にしないためにも、自分から情報を発信するときは気をつけたい。今回の講演を無駄にしないようにしよう。

◇私は今日の話聞いて、改めて自分のSNSの使い方を見直すことの大切さに気づいた。友達や自分の写真によって就職が難しくなるなど、何気ない投稿が一生つきまとうことがわかった。また、人間だけでなく、後ろに写ってしまっている物にもよく気をつけなければならないということを知った。日常の他愛もないことから、自分や他人を傷つけてしまうことや、自分の今までの努力を無駄にしてしまうことがあることを、すごく悲しく思った。しかし、今の時代、インターネットは必要不可欠なものになりつつある。そういった社会のなかでは、SNSを全く使わないというよりも、上手につきあっていくことが大切だと感じた。まず、利用規約をしっかりと読んでからアプリを使うことを心がけて、ほんの少しの投稿でも、内容をしっかりと確認していきたいと思う。また、自分の周りの人の投稿などへのコメントも、気をつけていこうと思う。自分と関わりのある人、また自分自身をむやみに傷つけないために、今日、講師の方に教えていただいたことをしっかりと頭に置いて行動したい。今日の話は、SNSの本当の恐さを知ることができて、高校生の私にとって大変ためになった。